



# すまい学習を サポートします



～住教育・建築教育の実践集～

社団法人 兵庫県建築士会  
神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”

# 目 次

●あいさつ	…	1
●はじめに	…	3

## 実践編

### 小学校

①安全で安心なすまいをつくるための方法を知ろう	防災・住まい	…	4
②モノの山…どう使う?どう捨てる?	住まい	…	7
③快適な暮らし方を考える～夏バージョン～	住まい	…	10
④すまいの安全性を考えよう	住まい	…	13
⑤建築を学ぼう	建築	…	15
⑥ユニバーサルデザイン(UD)授業	UD	…	23

### 中学校

①快適なすまいについて考えよう～照明～	住まい	…	25
②災害に備えた住み方～地震対策編～	防災・住まい		
A.舞子中学校		…	28
B.駒ヶ林中学校		…	31
C.鈴蘭台中学校		…	35
D.大池中学校		…	36
E.多聞東中学校		…	37
F.有馬中学校		…	38
G.生徒の感想文		…	39
③地震は来る。被害は防げる。	防災・住まい	…	40
④地震と防災 身近なことから防災を実践しよう	防災・建築	…	43

### 高校

①建築を学ぼう	建築	…	44
---------	----	---	----

## 資料編

論文:「生きる力」を育てる住教育プログラム	…	47
論文:「生きる力」を育てる住教育プログラム(その2)	…	53
公開ディスカッション:防災教育で伝えること、学ぶこと	…	59
雑誌「建築士」特集:次代を継ぐ住・建築教育	…	61
青年委員会の取り組み	…	75
新聞記事	…	78
すまいるネット(チラシ)	…	81

## 建築士と教育現場との良き協働のために

兵庫県建築士会では数年前からさまざまな形で、学校の教育現場で専門家としてサポートする活動に取り組んできました。神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）と数年にわたって推進してきた住教育の取り組み（女性委員会）や、総合の時間を活用して「建築を学ぼう」といった授業をサポートする活動（青年委員会）、ユニバーサルデザインに関する授業に対する支援（女性委員会など）のほか、被災経験を持つ建築士として次代へ継承するための取り組みの検討（防災特別委員会）などを行ってきました。

そして昨年12月には、こうした活動をさらに総合的かつ広範に推進するため、これまで個々に行われてきたさまざまな活動をネットワークする組織として住教育支援チームを立ち上げました。時を同じくして、すまいるネットで耐震改修をした学校における防災教育を展開しようという動きがあり、ゲストティーチャーの派遣などの要請が建築士会に寄せられました。こうして18年度では、すまいるネットと建築士会は協力して牛乳パックによる防災授業を6校24クラスにわたって実施すると共に、これまで取り組んできた住教育や建築教育の実践例を一冊の冊子にとりまとめることにしたわけです。

これは私たちの活動記録集でもありますが、一方で建築士会のこうした活動を広く教育関係者に知っていただくための「自己紹介パンフレット」でもあります。これによって、今後建築士と教育現場との良き協働が一つでも多く生れ、そして育つことを心から願っています。

社団法人 兵庫県建築士会  
会長 垂水 英司

## ネットワークの力で住教育を進めています

神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）は、阪神・淡路大震災後の住宅再建にかかる様々な相談や情報提供の経験をふまえ、平成12年に神戸市が設置したすまいに関する総合拠点です。

日々寄せられるすまいに関する相談の経験から、トラブルを未然に防ぐには、業界をあげて消費者保護の体制をしっかりと確立することが大切であると同時に、消費者としてもすまいに関する確かな目を養う必要があると痛感します。そのため、すまいるネットではいろいろと普及啓発事業に取り組んでいますが、長い目で見れば、将来のすまいの主体となる子どもたちが、すまいとくらしについて自ら考える力を身につけていくことが重要ではないかと思えます。

この観点から、学校における住教育に注目し、現場の先生や建築士等の専門家とネットワークを組んで、授業のサポートに取り組んでいます。特に、阪神・淡路大震災を経験した私たちが、子どもたちにその経験と教訓を伝え、防災や耐震についてしっかりと考えてもらう防災授業を重視しています。

この数年、現場の先生方や建築士とともに、いくつかの小学校・中学校で実践を積み重ねることができたのを機会に、兵庫県建築士会と合同で実践例をこの冊子にまとめ、紹介することとしました。

私たちの協働の取り組みはまだ始まったばかりですが、よりよきすまい手を育てるために、先生方や専門家とのネットワークを強化し、学校等における住教育の充実に努めていきたいと思っています。

神戸市すまいの安心支援センター  
センター長 倉橋 正己

## はじめに

リフォーム詐欺や点検商法、売買・工事契約をめぐるトラブル・・・と、すまいや建築に関する消費者問題は相変わらず後を絶ちません。「衣・食・住」と、私たちの生活を支える基本的な項目なのに、すまいのことはあまりにも消費者に情報が届いていないのではないのでしょうか。市民の一人ひとりに、生活の主体者として、すまいや建築のことをもっと知っていただくことが必要ではないかと思います。「すまいの学習」は、一人の生活者が世界のどこでも生きて行けるための基本的な力のひとつを身につけることとして、学校教育をはじめ様々な場面で展開していきたいものです。

この冊子の前半では、これまで兵庫県建築士会の各種委員会や各支部、あるいは、すまいるネットで取り組んできた、住教育・建築教育の実践事例を、「実践編」としてまとめました。これらは、「家庭科」や「総合的な学習」の時間で実践してきたもので、学習分野も「住まい方」「防災」「建築」「ユニバーサルデザイン」などとさまざまです。また実施方法も、建築士がゲストティーチャーとして企画担当するものや、担当の先生とプログラムを練り分担の上進んでいるものもあり、さらに、授業時間、回数もそれぞれ異なります。こうした事例を、具体的な進行方法もできるだけ紹介しながら、現場の先生方が参考にしやすいよう、「小学校」「中学校」「高校・その他」と実施対象別にまとめて掲載しています。

ここで紹介した実践内容は、固定したプログラムではなく、対象や学習内容の変更、展開はまだまだ可能です。もちろん、小学生向けのプログラムを中学生向けにレベルアップしなおすことも可能です。私たちは、学校教育の中ですまいの学習が「生きる力のひとつを習得する」目的で実践されることを願っています。

後半は「資料編」として、授業の記録そのものではなく、住教育や建築教育について、すまいるネットと兵庫県建築士会が様々な形で発表・報告したものをまとめました。「住まい・まち学習実践報告会」((財)住宅総合研究財団主催)向け応募論文やフォーラムの記録、あるいは建築士会青年委員会の活動などを紹介しています。併せて、日本建築士会連合会機関誌『建築士』2007年3月号に特集で掲載された全国の実践例も転載しています。転載を快く了承していただいた『建築士』編集委員会及び執筆者の皆様にお礼申し上げます。

この冊子がきっかけで、ひとつでも多くの授業の実践につながれば幸いです。建築士など専門家のお手伝いが必要な場合は、ぜひお気軽にご相談ください。また、すまいの学習が広がるよう、学習をサポートする教材やワークシートづくりにも今後着手する予定です。